

大野城市民読書活動推進計画 施策進捗状況シート

P 計画の基本事項				
基本目標	1 あらゆる世代の読書の推進			
施策	(3) 高校生以上の学生			
施策の方向性	高校や大学等に通う学生時代は、将来や自分の人生について特に考えをめぐらせる時期であるとともに、読書から離れやすい時期でもあります。学生が読書に興味を持ち、必要な情報を得たり今後のライフスタイルの参考にできる本と出会えるよう、積極的な情報発信及び支援を行います。また、学生の読書率を高めるため、読書の魅力を共有できる仲間との出会いをつくる取組を行います。			
主な取組	①本の紹介			
	②読書活動の促進			
	③調べ学習の促進			
成果指標	1か月の読書率		策定時点	目標値(R9)
			77.8%	80.0%
D 令和4年度(具体的な事業実施状況調査より)				
評価指標	重点事業	指標	実績(R4)	目標値(R5)
	おすすめ本や新着情報の提供	年間発信回数	4	4
主な取組の実施状況及び今後の方針	①本の紹介		達成状況	
	◆図書館ではイベント情報やおすすめ本の紹介等を掲載した情報誌を発行しており、中高生など10代を対象として「わいわいぱらら」を発行し(年4回発行※220部/回)、読書活動の手掛かりとして、刊行ごとに時節や季節感を意識した書評を中心に構成するとともに、担当者の実体験をもとにしたテーマを設け、読者が紙面をより身近に感じる工夫を行った。また、図書館ホームページにおいてイベント等の告知や実施報告、情報誌のバックナンバーを見ることができるようになっている。		※令和4年度は計画対象外	
	②読書活動の促進		達成状況	
	◆図書館で、施設見学122名、職場体験12名の受入した。今後申込数の回復が予想されるため、引き続き受入していく。また、ヤングアダルトコーナーの充実のため、ヤングアダルト資料を新たに197冊収集した。		※令和4年度は計画対象外	
◎期待以上 ○期待どおり △もう少し	③調べ学習の促進		達成状況	
	◆図書館では学校の貸出傾向を分析した資料収集を行っているほか、しらべものカウンターでレファレンスサービスとして資料や情報を見つける手伝いをしている。また、図書館ホームページでレファレンス事例をまとめたデータベースを公開している。		※令和4年度は計画対象外	
C 評価				
推進委員会評価	特に意見等はなし。 なお、市内にある筑紫中央高校では、10分間の朝読書のほか、クラスごとの貸出冊数を掲示している。また、何を read したらいいのか分からない生徒のために、学校司書や図書委員が本を選んで各クラスに置く等の取組を行っている。新校舎になって図書館もリニューアルされたが、利用者が増えていないため、今後はInstagram等のSNSを活用して図書館情報を発信したいと考えている。今後、高校生以上の学生に対する取組を検討する際の参考にしてほしい。			
検討が必要な事項	なし			
A 改善				
改善に向けた取組等	図書館では、1-(2)と同様、ヤングアダルトコーナーの充実を図るほか、図書館ホームページでのヤングアダルトページの公開を予定している。今後は図書館の公式Instagramを活用し、中高生に向けた情報発信等に取り組んでいく。			